

壁掛型電気湯沸器 EWS／EWRシリーズ(C) 置台型電気湯沸器 ETC／ETRシリーズ(C)

型番 EWS20／30／40
EWR12／20／30／45／65
ETC12／20／45／60／90
ETR12／20／30／45／65

1. 安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。

ご使用前に必ず本書をお読みにになり、内容をよく理解された上で正しくお使いください。

※本書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。



警告

この表示の欄は、「死亡、または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



⊘の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。
⊘の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項：必ずお守りください



警告



アース(D種接地)工事を確認してください。
アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。



定格電圧でお使いください。一時変動がある場合には±10%以内の環境でお使いください。
故障、火災の原因となります。



必ず電源一次側に漏電ブレーカを取り付け、動作を確認してください。
万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。



給湯中とその直後は高温になっていますので、配管部分、水栓金具に直接触れないでください。
やけどのおそれがあります。



絶対に改造はしないでください。
火災、感電、やけど、故障やケガの原因となります。



屋外に設置しないでください。
感電、故障の原因となります。

設置時、メンテナンス作業時以外は本体蓋(上蓋)を開けないでください。
やけどのおそれがあります。

本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。
発火のおそれがあります。

タンク内の湯温が高い場合には絶対に排水しないでください。
配管が破損して、やけどしたり漏水するおそれがあります。

水が掛かったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。
腐食や感電、故障の原因になります。

水・油・洗剤等が掛かる位置に機器本体および電源プラグ用のコンセント(電源プラグ付機種の場合)を設けないでください。
腐食や感電、故障の原因になります。

⚠ 注意

【EWS/EWR】

満水質量に十分耐えられる強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。
落下、故障の原因となります。

【ETC / ETR】

本体は湯沸器の満水質量に十分耐えられる強度を持った調理台などに必ず水平に設置し、固定金具・耐震バンドは十分な強度を持った壁面に必ず垂直に設置してください。
転倒、故障の原因となります。

機器本体へ配管接続する前に配管内のゴミ(切削粉、砂、シールテープ等)を除去するため、止水栓を開きフラッシングしてください。
故障や漏水の原因となります。

排水管は耐熱性のある材質のものを使用してください。
漏水の原因となります。

給湯、給水接続配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用してください。
漏水の原因となります。

配管に使用するパッキンはノンアスベストパッキンを使用してください。
漏水の原因となります。

貯湯温度が80℃未満の場合は、やかんなどで沸かしてからお飲みください。
健康を害するおそれがあります。

床面に防水、排水処理を施してください。
漏水が起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

規定の給水圧力(静止圧)にてご使用ください。給水圧力が高い場合は必ず減圧弁を取り付けてください。
誤動作、故障の原因となります。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグ本体を持って抜いてください。
感電、発火のおそれがあります。

長期間使用しない場合はタンクの水を抜いてください。
水質が悪化するおそれがあります。

本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防処置を施してください。
凍結により破損、漏水のおそれがあります。

機器本体および配管に乗ったり体重を掛けたり物を載せたりしないでください。
落ちてケガをしたり、漏水、故障の原因となります。

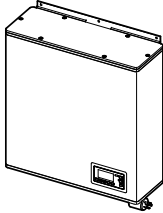
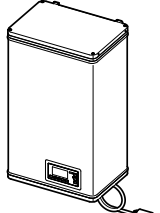
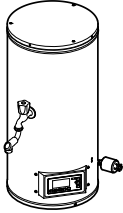
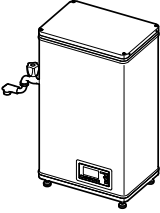
機器本体に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因となります。

水道水(上水)以外は使用しないでください。
井戸水などを使用すると腐食などにより漏水、故障、発火、漏電の原因となります。

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがありますので、固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用にしないでください。
健康を害するおそれがあります。

2. 施工前にご確認ください

製品の確認

		壁掛型		置台型	
		EWS	EWR	ETC	ETR
本体および付属品	本体				
	共通	●工事要領書(本紙) ●取扱説明書			
	型式別	●本体取付板 ●給湯用フレキ管(L=120) ●排水用フレキ管(L=120)	●本体取付板 ●給湯用フレキ管(L=120) ●排水用フレキ管(L=120) ●ローレットねじ(2本)	●耐震バンド ●自在水栓(本体取付済)	●固定金具 ●自在水栓 ●排水用フレキ管(L=400)
お客様手配品	共通	●漏電ブレーカ ●配管部材 ●止水栓 ●アンカーボルト※1 ●水栓※2	●漏電ブレーカ ●配管部材 ●止水栓 ●アンカーボルト※1 ●水栓※2	●漏電ブレーカ ●配管部材 ●止水栓 ●アンカーボルト※1	●漏電ブレーカ ●配管部材 ●止水栓 ●アンカーボルト※1
	型式別	●混合水栓 まぜまぜ(MZ-N3シリーズ) ●熱湯専用単水栓(NT-1) ●配管カバー ●オーバーフローパイプ(FOP) ●給水用フレキ管・止水栓セット ●本体取付板アダプター	●混合水栓 まぜまぜ(MZ-N3シリーズ) ●熱湯専用単水栓(NT-1) ●配管カバー ●オーバーフローパイプ(FOP) ●給水用フレキ管・止水栓セット		

※1：推奨アンカーボルトは下表の通りです。

型式	EWS	EWR	ETC	ETR
貯湯量	20 30 40	12 20 30 45 65	12 20 45 60 90	12 20 30 45 65
アンカーボルト種類	カールボルトプラグ			
アンカーボルト径	M4	M4 M6	M4 M6	M5
アンカーボルト長さ	25	25 38	25 38	32
アンカーボルト本数	10	6	4 8	2

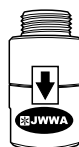
※2：混合水栓を使用する場合は、関連商品の「混合水栓 まぜまぜ(MZ-N3シリーズ)」が必要です。

★お客様手配品に記載のある項目は機器設置に必ず必要な部材です。関連商品にて取り扱っている部材もあります。

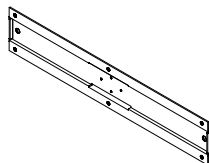
2. 施工前にご確認ください(つづき)

関連商品について

- 一軸型減圧弁 いちじく (iJG-1)
使用水圧(静止時)が0.3MPa
を超える場合は、必ず取り付け
てください。(最高使用圧力:
0.75MPa)

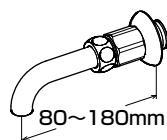


- 本体取付板アダプター
(EWS 専用)
ふかし壁に取り付ける
場合に必要です。



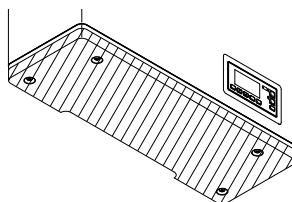
- オーバーフローパイプ (FOP)
EWSおよびEWRの配管を埋込み配管にする場合の
オーバーフロー処理用。

※選択したまぜまぜの型式によっては必要ない場合があります。

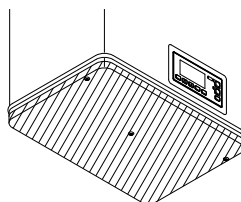


- 配管カバー
EWSおよびEWRの配管を埋込み
配管にする場合に本体下部に取り
付けて、配管を隠します。

※右図斜線部



【EWS用】



【EWR用】

- 混合水栓 まぜまぜ (MZ-N3 シリーズ)
EWSおよびEWRは給湯圧力が落差分だけのため、水道のような水圧はありません。一般に販
売されている混合水栓では十分ミキシングができないため、必ず『まぜまぜ (MZ-N3 シリーズ)』
をご使用ください。

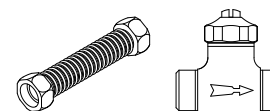
混合水栓をご使用されるときには、**給水源が「タンク以下」であることをご確認ください。**

	MZ-1N3	MZ-2N3	MZ-3N3
外観			
対象シリーズ	EWS / EWR	EWS	EWS / EWR
配管方法	埋め込み配管	露出配管	立ち上がり配管
熱湯口	あり	あり	あり
備考	—	湯沸器接続用配管付属	—

	MZ-4N3	MZ-5N3	MZ-6N3
外観			
対象シリーズ	EWS / EWR	EWS	EWS / EWR
配管方法	埋め込み配管	露出配管	立ち上がり配管
熱湯口	なし	なし	なし
備考	—	湯沸器接続用配管付属	—
	MZ-7N3	MZ-8N3	MZ-9N3
外観			
対象シリーズ	EWS / EWR	EWR	EWR
配管方法	埋め込み・露出配管	埋め込み・露出配管	露出配管
熱湯口	あり	あり	あり
備考	—	湯沸器接続用配管付属	湯沸器接続用配管付属

※「まぜまぜ」は必ず純正付属品をご使用ください。他社製アーム等を使用すると故障や不具合の原因となります。

- 給水用フレキ管・止水栓セット
給水用フレキ管と止水栓のセット商品。



3. 設置工事

設置工事における注意点

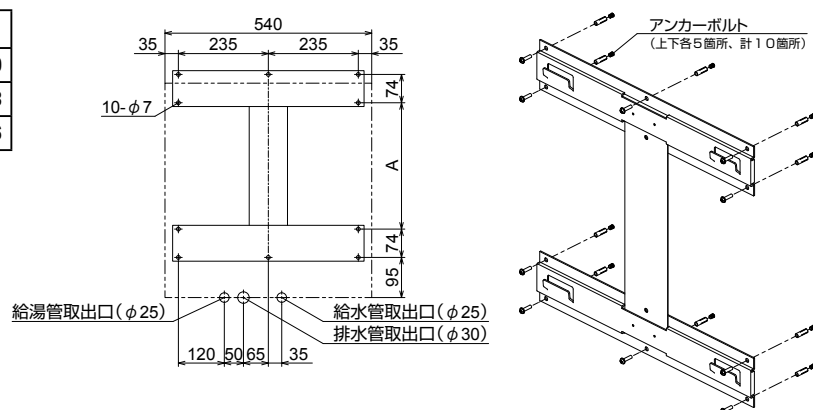
- 本体を取り付ける際には壁面が垂直であること、湯沸器の満水質量に対し十分な強度があることを確認してください。【EWS/EWRのみ】
- 本体を設置する際には設置面が水平であること、湯沸器の満水質量に対し十分な強度があることを確認してください。【ETC/ETRのみ】
- 熱湯吐水口よりも20cm以上(熱湯吐水口の無い水栓は混合湯吐水口より30cm以上)、高い位置に設置してください。【EWS/EWRのみ】

EWS設置手順

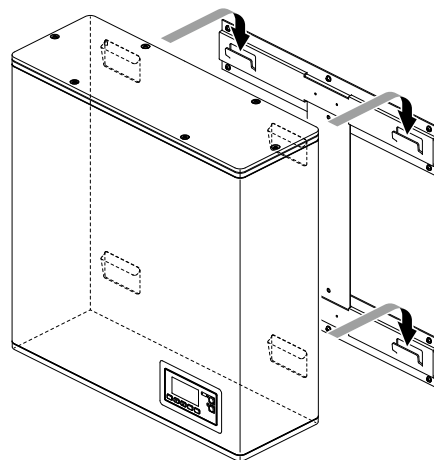
▶ 本体寸法はP.7参照

- ① 取付寸法図に従い、アンカーボルトで壁面に本体取付板を取り付ける。

型式	A
EWS20	330
EWS30	463
EWS40	596



- ② 本体取付板の引っ掛けツメを湯沸器裏面の取付穴に引っ掛けて取り付け。



- メンテナンススペースとして設置場所上部に30cm以上あることを確認してください。
- 本製品は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しております。建築物の可燃物等からの離隔距離は、表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形

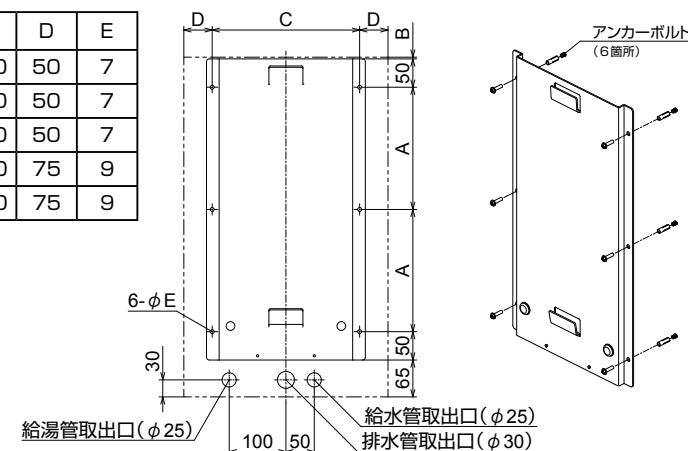
場所	上方	左方	右方	前方	後方	下方
離隔距離(cm)	0	0	0	0	0	0

EWR設置手順

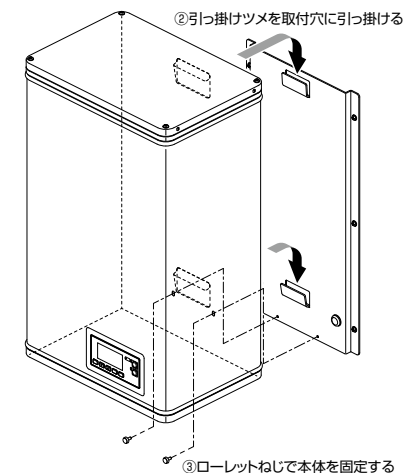
▶ 本体寸法はP.7参照

- ① 取付寸法図に従い、アンカーボルトで壁面に本体取付板を取り付ける。

型式	A	B	C	D	E
EWR12	156	2	260	50	7
EWR20	216	2	260	50	7
EWR30	290	2	260	50	7
EWR45	255	19	300	75	9
EWR65	342	19	300	75	9



- ② 本体取付板の引っ掛けツメを湯沸器裏面の取付穴に引っ掛けて取り付け。
- ③ ローレットねじで本体を本体固定金具に固定する。(2箇所)

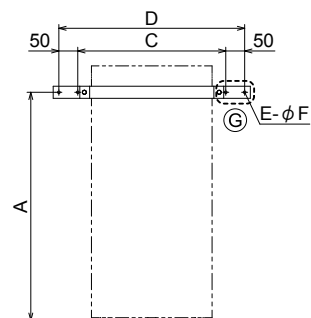


3. 設置工事(つづき)

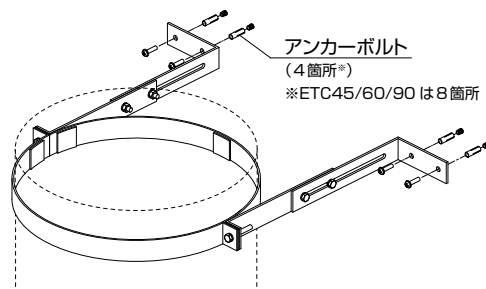
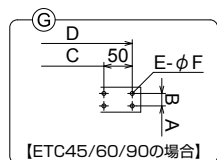
ETC設置手順

▶ 本体寸法はP.8参照

- ① 湯沸器を本体を水平に設置し、耐震バンドを取り付ける。
- ② 取付寸法図に従い、アンカーボルトで耐震バンドを壁面に固定する。



型式	A	B	C	D	E	F
ETC12	470	—	392	492	4	7
ETC20	620	—	392	492	4	7
ETC45	615	22	515	615	8	9
ETC60	730	22	515	615	8	9
ETC90	960	22	515	615	8	9

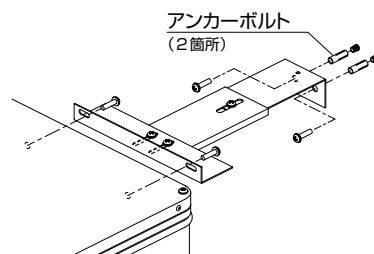
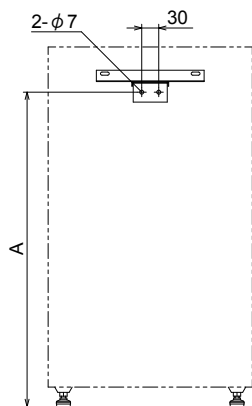


ETR設置手順

▶ 本体寸法はP.8参照

- ① 湯沸器を本体脚部のアジャスターを使用して水平に設置し、本体固定金具を取り付ける。
- ② 取付寸法図に従い、本体固定金具をアンカーボルトで壁面に固定する。

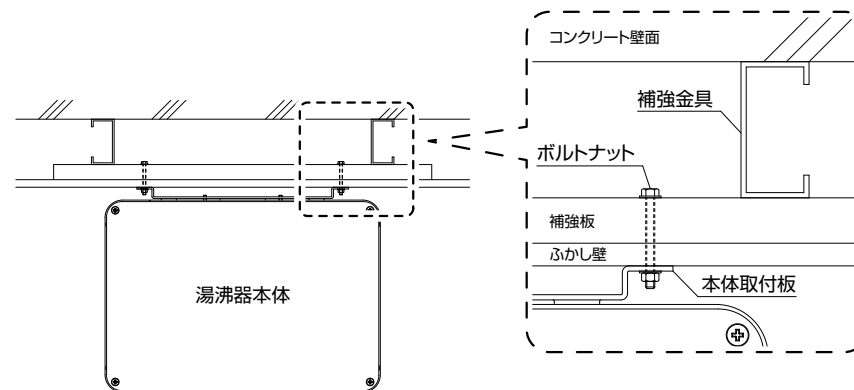
型式	A
ETR12	438
ETR20	557
ETR30	705
ETR45	646
ETR65	819



ふかし壁取付例 ※図はEWRの場合

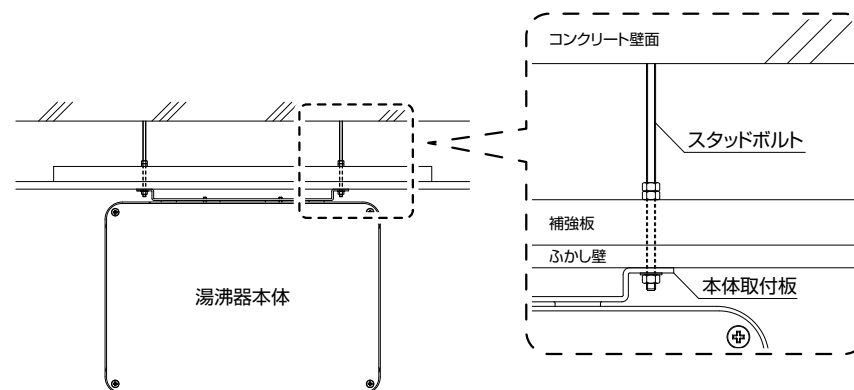
【取付例1】

補強金具、補強板を用意し、ボルトナットで取り付ける。



【取付例2】

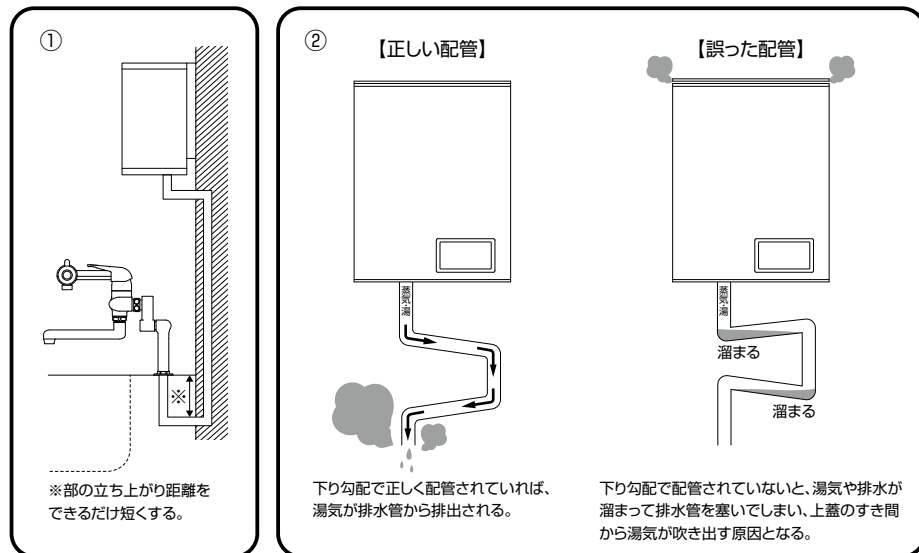
補強板を用意し、スタッドボルトで取り付ける。



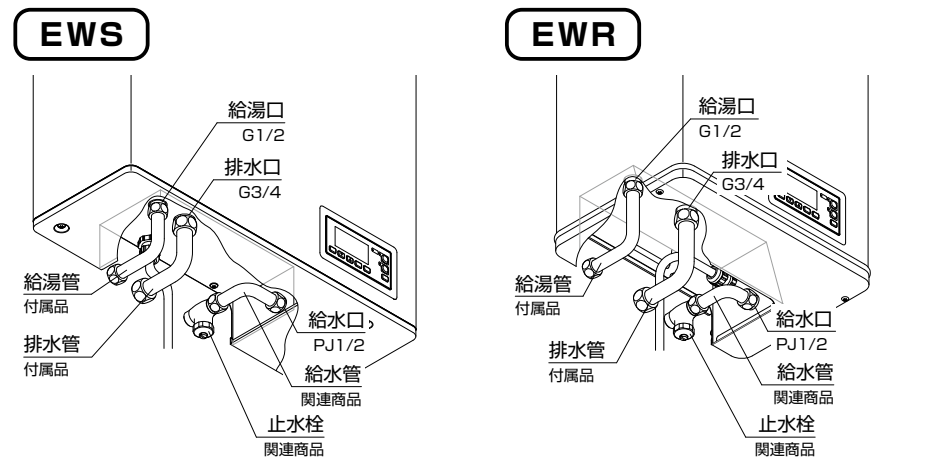
4. 配管工事

配管工事における注意点

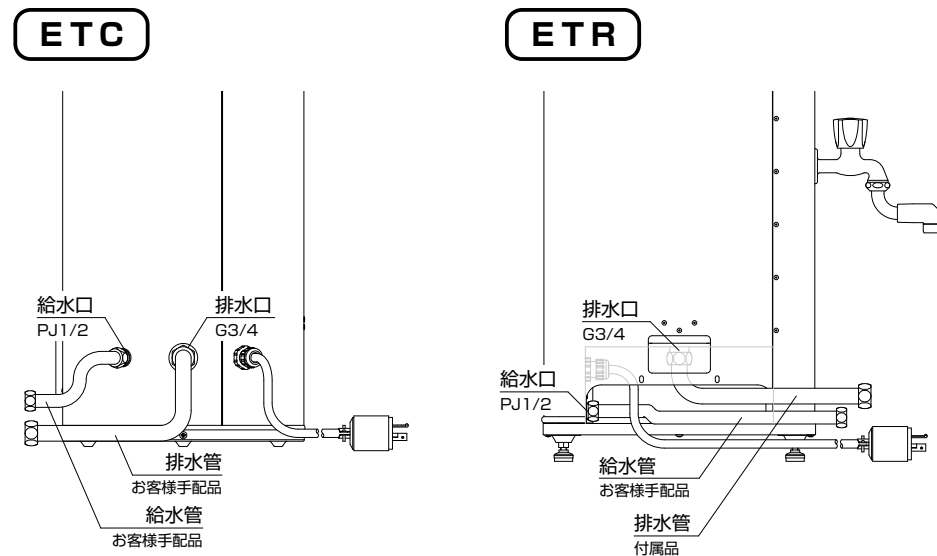
- 全ての配管はフレキ管を使用し、湯沸器がいつでも取り外し可能な状態にしてください。
 - 給湯・給水配管はステンレスもしくは銅製の材質を使用し、排水配管は耐熱性のものを使用してください。
 - 給水一次側には必ず止水栓を設けてください。
 - 使用水压(静止時)が0.3MPaを超える場合には、必ず一次側に減圧弁を取り付けてください。(関連商品の『いちじく(iJG-1)』をご発注いただくか、別途お客様にてご手配ください。)
 - 給水管に30cm以上フレキ管を使用する場合は必ず壁に固定してください。固定しないとウォーターハンマー現象が起きる場合があります。
 - 給湯配管の横引き距離は落差距離の3倍までとし、混合水栓を設置する場合は、必ず『まぜまぜ(MZ-N3シリーズ)』をご使用ください。
 - 給湯圧力は落差分しかないので、立ち上がり配管の場合は立ち上がり距離を短くしてください。(下図①参照) また、配管内の空気抜きを必ず行ってください。
 - 排水管に直接排水を行う配管接続にすると、クロスコネクションになるだけでなく排水時の熱湯による熱影響で漏水を起こす原因となりますので、排水はシンク(流し)に排水するように施工してください。(P.7「排水処理例」参照)
- EWS/EWRシリーズを取り付ける現場が埋め込み配管の場合は関連商品の壁面取付用オーバーフローパイプ(FOP)をお使いいただくと、簡単に施工できます。
- また、排水管の施工を行う際には**必ず下り勾配にするとともに、絶対にバルブは設けないでください。**万一排水管が塞がれた場合、湯気が水として溜まるため、湯気が出にくくなります。(下図②参照)
- 排水管の先は必ず排水口空間を確保し、間接排水としてください。



配管接続例



- 上図は埋め込み配管の場合です。(配管取出し寸法は「3. 設置工事」を参照してください)

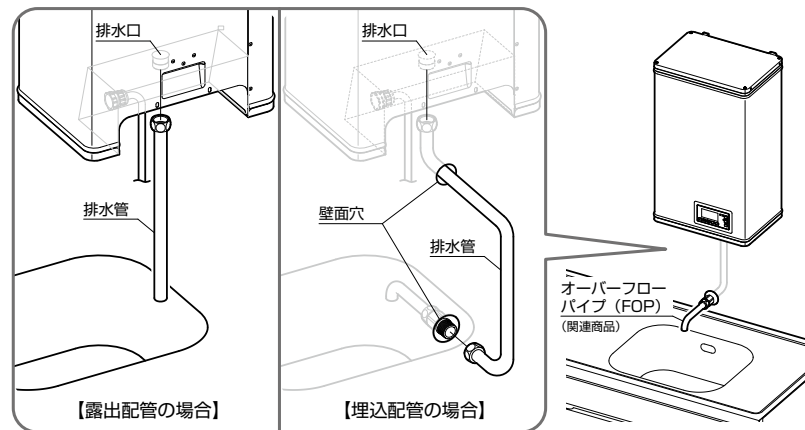


4. 配管工事(つづき)

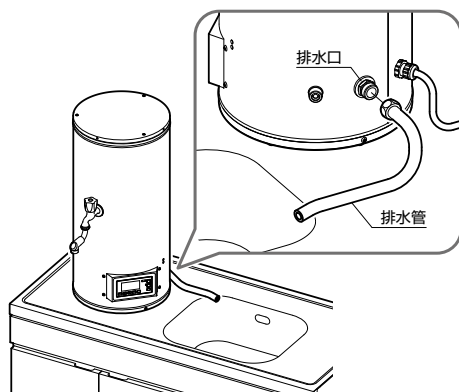
排水処理例

EWS / EWR

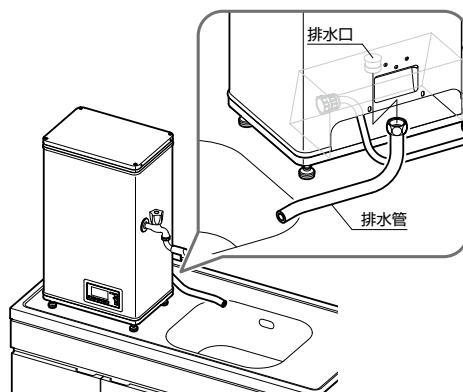
※図はEWRの場合



ETC



ETR

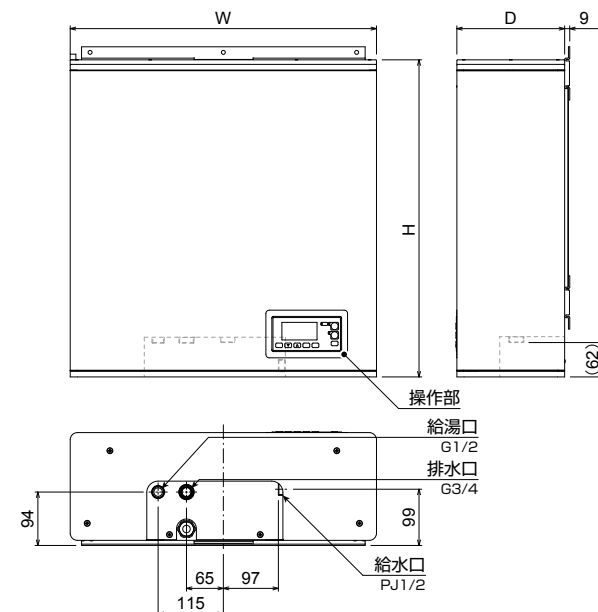


5. 仕様

製品寸法一覧

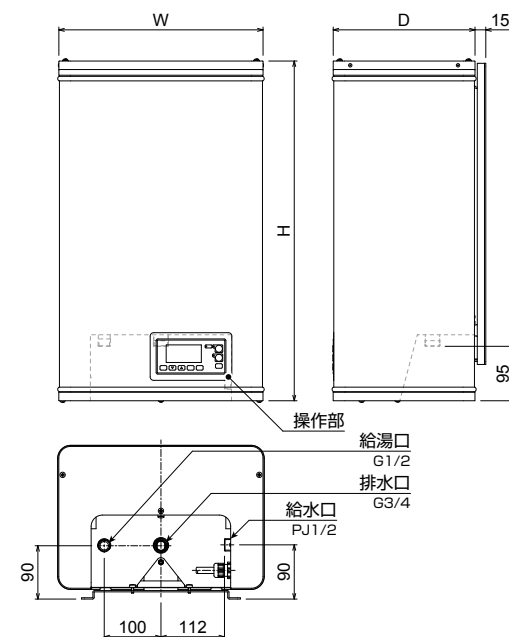
EWS

型式	W	D	H
EWS20	540	190	560
EWS30	540	190	693
EWS40	540	190	826



EWR

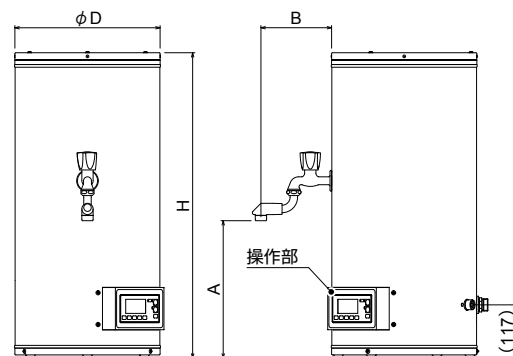
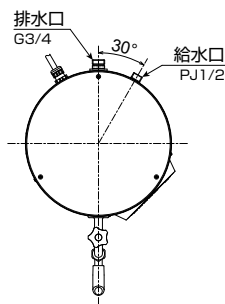
型式	W	D	H
EWR12	360	250	480
EWR20	360	250	599
EWR30	360	250	747
EWR45	450	320	694
EWR65	450	320	867



5.仕様(つづき)

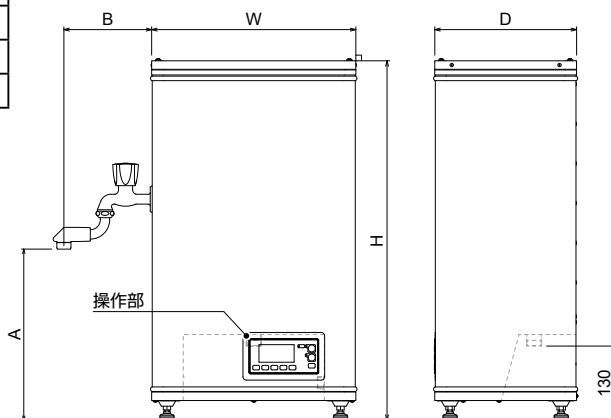
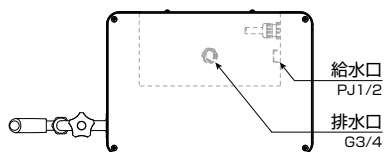
ETC

型式	φD	H	A	B
ETC12	320	532	230	150
ETC20	320	672	300	150
ETC45	450	685	350	150
ETC60	450	805	400	150
ETC90	450	1045	500	150



ETR

型式	W	D	H	A	B
ETR12	360	250	515	230	150
ETR20	360	250	634	300	150
ETR30	360	250	782	300	150
ETR45	450	320	729	350	150
ETR65	450	320	902	400	150



共通仕様

定格	電 圧 (V)	単相 100 / 単相 200
	周 波 数 (H z)	50 / 60
設 定 温 度 範 囲 (° C)		60 ~ 95 (1 ° C 刻み), HI (約 98 ° C)
使用条件	設 置 環 境 温 度	0 ~ 40 ° C (凍結しないこと)
	一 次 側 使 用 水 温	40 ° C 以下 (凍結しないこと)
	使 用 水 圧 (静 止 時)	0.1 ~ 0.3 MPa
	設 置 場 所	屋内
安 全 装 置		過昇温検出、異常時主回路遮断、給水異常検出、センサー異常検出、沸かし上げ異常検出、空焚き防止機能、排水異常検出 (Cタイプのみ)

型式別仕様

型式	型番	貯湯量 (L)	消費電力 (kW)		満水質量 (kg)	電源コード
			単相 100 V	単相 200 V		
EWS	EWS20	20	1.5	1.5	36	0.8m
	EWS30	30		2.0	48	
	EWS40	40		3.0	60	
EWR	EWR12	12	1.5	0.75	23	
	EWR20	20		1.5	32	
	EWR30	30		2.0	44	
	EWR45	45		3.0	63	
	EWR65	65		4.0	86	
ETC	ETC12	12	1.5	0.75	22	1.0m
	ETC20	20		1.5	31	
	ETC45	45		2.0	62	
	ETC60	60		3.0	80	
	ETC90	90		4.0	113	
ETR	ETR12	12	1.5	0.75	24	
	ETR20	20		1.5	33	
	ETR30	30		2.0	45	
	ETR45	45		3.0	64	
	ETR65	65		4.0	87	

●本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

KK00D20003-3

'22.11-3-1-5 ①